



SESERAGI-MISHIMA ROTARY CLUB WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011～2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY こころの中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳
副会長 太田政人 幹事 山田定男

第1066回 例会 2011.11.04(金)晴

司会:久保栄子君 指揮:石井和郎君
ロータリーソング「四つのテスト」

事務所 三島市中央町4-9 小野住環中央町ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352

<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>

せせらぎ三島ロータリークラブ 検索

例会場 ブケ東海三島

TEL. 055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

会長挨拶

会長 渡邊照芳君



本日は、久保栄子君の職業紹介をさせていただきます。

久保君の職業は、ワインコンサルタントであります。余り聞きなれない職業かと思いますが、以前は、久保酒店をご主人の跡についてやってお

りましたが、そのころから自分でなにか出来る事はないかと思っていた時、ワインを販売する人の為の資格があると聞きフランス食品振興会の認定のワインコンサルタントの資格をとりました。この資格はあまり一般にはなじみがありませんが、2000人の受験者の中で50人位しか合格しないかなり難しい資格であります。

そして、自分が定年で酒店の現役を退いたのをきっかけに今のワインコンサルタントの仕事を一本に行っております。

この仕事を始めて楽しいことばかりで何も苦しいことはないそうです。おいしいワインを毎日飲める事は大変幸せですと、言っておりました。ワインを通して社会に関わる事が出来、また社会の仕組み、人との関わり方、今まで狭い中で生きていた自分が成長出来る事が非常にうれしいと言っておりました。「馬には乗ってみよ、人にはそってみよ」

ということわざがあるがこれからもワインを飲んで、ワインを通して、色々な事を積極的に体験し、前向きに生きていきたいとはなしておりました。

久保さんと話しをしていて一番感じた事は、本当にワインが、好きな人なんだな。話の中にワインという言葉が何十回も出てきました。一日ワインのフルボトルを2本あけると言っておりましたが、これからも楽しく又おいしくワインを飲む為にも、体に気を付けて、ほどほどに飲んで下さい。

おめでとう

会員誕生日 11月10日 岡 良森君

出席報告

	出席総数	出席率	メイクアップ	修正出席率
前々回	26/33	78.79%	29/33	87.88%
今回	26/34	76.47%	会員総数	35名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

遠藤君、兼子君、小林君、鈴木君、田中君、服部君、望月君、米山君

理事会報告

第5回理事・役員会議事録

出席者 渡邊 山田 片野 西原 矢岸 山口(辰)
太田 中山 根津 山本(良) 山本(章)
山口(雅) 石井(司)

①タイへの義援金の件

会員各位からの義援金について、理事会全員了承する。金額は1000円をお願いする。又、国際奉仕の予算をプラスすることも承認する。

②遠藤会員の件

スポンサーの石井(司)・鈴木(政)両氏が連絡を取る。

幹事報告

幹事 山田定男君

1. 例会変更 伊豆中央RC

11月22日(火)→27日(日)

伊豆総合高校 I A C 認証伝達式

未来の夢計画の概要

ロータリー財団が2017年に創立100周年を迎えることを踏まえ、管理委員会は、財団が奉仕の第二世紀に移行するための計画を立てています。創立以来、ロータリー財団は、プログラムにほとんど変更を加えることがありませんでした。そこで、管理委員会は、面接やアンケート調査、意見交換会などを通じて多種多様な関係者の意見を取り入れ、未来の夢計画を立案しました。この計画では、財団の使命を新たにするとともに、持続可能な成果を生むことができるよう、一層効果的で効率のよい支援方法を編み出しました。

ロータリー財団の使命は、『ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること』です。財団の新しい使命、そして「世界でよいことをしよう」という新しい標語は、財団管理委員会とRI理事会、ならびに規定審議会によって承認されました。未来の夢計画は以下を目的としています。

- ・財団の使命に沿って、プログラムと運営を簡素化すること。
- ・ロータリアンにとって関連性のある世界の優先的ニーズに取り組むことによって、最大の成果が期待できるロータリアンの奉仕活動に焦点を絞ること。
- ・世界的目標と地元の目標の両方を果たすためのプログラムを提供すること。
- ・意思決定をさらに地区に移行することによって、地区レベルとクラブレベルで、ロータリー財団が自分たちのものであるという自覚を高めること。
- ・ロータリー財団の活動に対する理解を深め、ロータリーの公共イメージを高めること。



スマイルボックス

中村 徹君:12月1日(木)三島文化会館で家内がソプラノのリサイタルがあり、皆様に御案内させていただきました。杉山隆さんにはポスター、御案内文等大変お世話になりました。ありがとうございました。

澤田 稔君:欠席がちで申し訳ありません。退会はいたしません。

石井司人君:本日は37回目の結婚記念日です。

久保栄子君:本日、私の職業紹介との事、少し照れますが、会長、ありがとうございます。

A・Bテーブル:10月28日(金)A Bテーブル会を大房さんの「きみか」で行わせて頂きました。有意義な時間が過ごせたと思います。テーブル会より残金をスマイルいたします。(何で財布のお金がこんなに有るのか今日わかりました。by土屋)

ロータリーの友11月号紹介

- 1、Eクラブ、メイクアップについて。
- 2、巻頭言、RI会長メッセージに必読について。
- 3、今月はロータリー財団月間です。特集としてグローバル補助金を利用したフッ化物濾過装置についての報告が記載されています。
- 4、ロータリー財団の「未来の夢計画」が2007年RI理事会で取り上げられたのは小額プロジェクトの増加が補助金を上回る経費と共に膨大な事務量を生じ、あふれる書類に、人的対応が追いつかなくなった事がひとつの要因であるとしています。
- 5、新しい補助金のモデルは新地区補助金とグローバル補助金のみとした。詳しくは www.rotary.org/ja/futurevision に記載されています。
- 6、「ポリオプラス」は、これまで通りに運営が継続します。国際問題研究のための「ロータリーセンター」も変更はない。
- 7、東日本震災復興基金日本委員会報告(2)では委員長から個別の報告がなされています。それによると、2620地区からのプロジェクトの報告が未だにない。ガバナー会から返却された2620地区としての義援金の使い道は？

.....
**PHOTO
 GALLERY**

